



千葉県多古町を訪問（ふるさと多古町あじさい祭りの様子）

# 田子町 議会だより

2017



## 第92号

平成29年7月26日発行

青森県田子町議会

### 目次

議会と町政に町民の声を！	2
議案28件を審議	4
一般質問に2議員登壇	6
先進地から学び町政にいかす	12
行政視察研修報告	

# 議会と町政に町民の声を！

## ～議員と町民の意見交換会～



上郷会場（上郷公民館）



田子会場（中央公民館）

3月22日、中央公民館と上郷公民館の2会場で、議員と町民の意見交換会が開催されました。中央公民館には4名、上郷公民館には6名が来場し、教育関係や産業関係など、幅広い内容でお話を伺うことができました。

いただいたご意見や要望は、議員全員で話し合い、内容を整理した後、町等、関係団体と協議していきます。

### いただいた主な意見・要望

- 田子高校が分校だった頃、町の活性化に伴い定時制から昼になった。田子高校のことは町全体のこととして考えるべき。
- 農家に補助事業は出しているが、会社経営には出していない。商店に対しても補助をした方がよいのではないか。何かの機会に議員で集まって話をしていただきたい。
- 町民の収入を上げるための施策も議論していただきたい。
- にんにくの新規種子購入に対する補助があれば助かる。
- 今後、合併できなかった町村が生き残っていくため、町村合併も1つの方法ではないか。議会から話を出して話題にしていただきたい。
- 道路・水路整備について
- 自治会活動をする则会費の負担がでてる。お金を使わないために活動をしない方が良いという声もある。自治会活動に対して補助金の新設を求める。
- 畜産農家全体で町の畜産を守らないといけない。予防接種を徹底する呼びかけをしていただきたい。
- 道路・水路整備について
- リフォームの補助について、家を借りている人が申請できるようにできないか。
- 議会と町長と一緒に、予算執行した後の検証をしてほしい。

# 第2回定例会

## 定例会のあらまし

平成29年第2回定例会は6月5日から7日までの3日間の会期で開催されました。

本会議初日には条例改正や補正予算案など28件の議案が提出され、町長から提案理由の説明がありました。その後、各常任委員会の任期満了による改選があり、新しい委員会委員が決定しました。

6日の一般質問には2人の議員が登壇し、町政全般にわたり活発な議論を交わしました。  
7日最終日には、定例会初日に提出された議案28件について審議しました。

## 委員会の改選

総務・文教常任委員会及び産業・民生常任委員会、議会運営委員会の委員任期の満了により、6月定例会で委員会の改選がありました。また、委員の変更に伴い、関係する委員会の委員も変更になり、次のように決定となりました。

### ○常任委員会

#### 総務・文教常任委員会

委員長 日沢 一雄  
副委員長 砂子田 康雄  
委員 宇藤 大介  
椛本 義見  
澤口 勝

任期 平成29年6月5日  
～平成31年5月29日

#### 産業・民生常任委員会

委員長 尾形 憲男  
副委員長 宮村 尚哉  
委員 蹴揚 清人  
沢口 博二  
欠端 則夫

任期 平成29年6月5日  
～平成31年5月29日

### ○議会運営委員会

#### (議会広報編集委員会)

委員長 宮村 尚哉  
副委員長 宇藤 大介  
委員 砂子田 康雄  
日沢 一雄

任期 平成29年6月5日  
～平成31年5月29日

### ○田子町消防委員会委員

日沢 一雄  
尾形 憲男  
沢口 博二

任期 平成29年6月13日  
～平成31年5月29日

### ○三戸町及び田子町

#### 教育研究協議会

澤口 勝  
日沢 一雄

任期 平成29年6月5日  
～平成31年5月29日

## 主な補正予算

一般会計 歳入 一般会計 歳出

### ●国庫支出金

個人番号カード交付  
事業費補助金

113万8千円

### ●総務費

役場庁舎修繕工事

900万円

### ●県支出金

野菜等生産力強化対策事業補助金

242万9千円

にんにく関連機械の導入に対するもの

地域おこし協力隊起業支援補助金

100万円

### つながる食育委託金

212万円

田子小学校をモデル校に指定し、望ましい食習慣を目指そうとする態度の育成を目的とする事業。

### ●商工費

町商工会運営事業費補助金

280万円

大福山公園にあるひだまりの小屋の屋根などの補修費用に対する補助



# 審議結果

補正予算や条例改正など、  
28件の議案が提出され、審議しました。  
結果を一覧で掲載します。

議案番号	件名と主な内容	議決結果
報告第1号	専決処分した事件の承認について (平成28年度田子町一般会計補正予算(第8号)について)	承認 (賛10・否0)
報告第2号	専決処分した事件の承認について(田子町町税条例等の一部改正)	承認 (賛10・否0)
報告第3号	専決処分した事件の承認について(田子町国民健康保険税条例の一部改正)	承認 (賛10・否0)
報告第4号	平成28年度田子町一般会計繰越明許費繰越計算書について	報告のみ
報告第5号	一般財団法人田子町にんにく国際交流協会平成29年度事業計画並びに平成28年度事業報告及び決算について	報告のみ
報告第6号	公益財団法人にんにくネットワーク平成29年度事業計画並びに平成28年度事業報告及び決算について	報告のみ
議案第34号	田子町国民健康保険税条例の一部改正について	原案可決 (賛10・否0)
議案第35号	田子町ひとり親家庭等医療費給付条例の一部改正について	原案可決 (賛10・否0)
議案第36号	田子町過疎地域自立促進計画の変更について	原案可決 (賛10・否0)
議案第37号	田子町消防委員会委員の承認について 任期満了や人事異動に伴い、宇藤堅一氏(相米・68)、田沼誠一氏(下田子・68)、村木勉氏(細野・64)七日市登氏(七日市・64)、袴田和弘氏(三戸町・53)の5名の委員候補者の承認を求めるもの。 任期:2年(平成29年6月23日~平成31年6月22日) ※袴田氏は委嘱発令月日から在職期間中	承認 (賛10・否0)
議案第38号	田子町固定資産評価審査委員会委員の選任について 現在委員の三田喜美雄氏(飯豊・67)の任期満了に伴い、三田氏の再任について議会の同意を求めるもの。 任期:3年(平成29年6月30日~平成32年6月19日)	同意可決 (賛10・否0)
議案第39号	田子町教育委員会委員の任命について 現在委員の立田美律氏(七日市・51)の任期満了に伴い、立田氏の再任について議会の同意を求めるもの。 任期:4年(平成29年6月23日~平成33年6月22日)	同意可決 (賛10・否0)
議案第40号	田子町教育委員会委員の任命について 現在委員の北村栄子氏の任期満了に伴い、川上洋行氏(七日市・43)を任命したく、議会の同意を求めるもの。 任期:4年(平成29年6月23日~平成33年6月22日)	同意可決 (賛10・否0)
議案第41号	田子町農業委員会委員の任命について 現委員の任期満了に伴い、尾形憲男氏(清水頭・46)を任命したく、議会の同意を求めるもの。 任期:3年(平成29年7月20日~平成32年7月19日)	同意可決 (賛10・否0)

議案番号	件名と主な内容	議決結果
議案第42号	田子町農業委員会委員の任命について 現委員の任期満了に伴い、源新信雄氏（下本町・66）を任命したく、議会の同意を求めるもの。 任期：3年（平成29年7月20日～平成32年7月20日）	同意可決 (賛10・否0)
議案第43号	田子町農業委員会委員の任命について 現委員の任期満了に伴い、西野榮一氏（種子・76）を任命したく、議会の同意を求めるもの。 任期：3年（平成29年7月20日～平成32年7月20日）	同意可決 (賛10・否0)
議案第44号	田子町農業委員会委員の任命について 現委員の任期満了に伴い、細谷一夫氏（細野・69）を任命したく、議会の同意を求めるもの。 任期：3年（平成29年7月20日～平成32年7月22日）	同意可決 (賛10・否0)
議案第45号	田子町農業委員会委員の任命について 現委員の任期満了に伴い、白板文雄氏（原・68）を任命したく、議会の同意を求めるもの。 任期：3年（平成29年7月20日～平成32年7月23日）	同意可決 (賛10・否0)
議案第46号	田子町農業委員会委員の任命について 現委員の任期満了に伴い、大坊和民氏（道前・64）を任命したく、議会の同意を求めるもの。 任期：3年（平成29年7月20日～平成32年7月24日）	同意可決 (賛10・否0)
議案第47号	田子町農業委員会委員の任命について 現委員の任期満了に伴い、畠山嘉昭氏（新田・71）を任命したく、議会の同意を求めるもの。 任期：3年（平成29年7月20日～平成32年7月25日）	同意可決 (賛10・否0)
議案第48号	田子町農業委員会委員の任命について 現委員の任期満了に伴い、宇藤安貴子氏（相米・68）を任命したく、議会の同意を求めるもの。 任期：3年（平成29年7月20日～平成32年7月26日）	同意可決 (賛10・否0)
議案第49号	田子町農業委員会委員の任命について 現委員の任期満了に伴い、脇谷敦子氏（細野・52）を任命したく、議会の同意を求めるもの。 任期：3年（平成29年7月20日～平成32年7月27日）	同意可決 (賛10・否0)
議案第50号	田子町農業委員会委員の任命について 現委員の任期満了に伴い、上平満広氏（茂市・42）を任命したく、議会の同意を求めるもの。 任期：3年（平成29年7月20日～平成32年7月28日）	同意可決 (賛10・否0)
議案第51号	平成29年度田子町一般会計補正予算（第1号）について	原案可決 (賛10・否0)
議案第52号	平成29年度田子町国民健康保険事業勘定特別会計補正予算（第1号）について	同意可決 (賛10・否0)
議案第53号	平成29年度田子町介護保険事業勘定特別会計補正予算（第1号）について	原案可決 (賛10・否0)
議案第54号	平成29年度田子町国民健康保険町立田子診療所及び介護老人保健施設事業特別会計補正予算（第1号）について	原案可決 (賛10・否0)
議案第55号	平成29年度田子町水道事業特別会計補正予算（第1号）について	原案可決 (賛10・否0)

# 一般質問



欠端則夫 議員

## 町有林と林業について

### 【質問1】

町有林の各伐期ごとの面積と主な樹種をお知らせ願いたい。

町長答弁  
樹種別に標準的な伐期を設定している。16 齢級の樹齢80年を迎える面積は、平成30年度に約0・1 ha、32年度では1・5 ha、33年度では5 ha、43年度以降は1年ごとに20 haを超える面積が伐期を迎

える。樹種は約60%が広葉樹。

### 【質問2】

伐採面積の多い年の木を早めに切って、面積の平均化はできないか。

### 【町長答弁】

森林資源活用委員会でも話し合っているが、約90%が保安林に指定されており、行為制限があるので計画的な整備実施に努める。

### 【質問3】

林業者が仕事を取りやすいように、合併や集会社社になる協力を行えないものか。

### 【町長答弁】

林業再生協議会から同様の意見をいただいております。可能性を探っている。ただし、合併や集会社社の実現には、それぞれの事業の経営者の意識や方針が大きな決定要素となるため、

聞き取り調査を行う。

### 【質問4】

若い職員、長く町有林を見守る職員を多く育てるために、町有林を見回らせているか。

### 【町長答弁】

林業担当者を中心に、随時巡回を実施しており、今後も適切な森林整備に取り組んでまいります。

一般質問は、町政全般にわたって町に疑問点を問いただし、議員自らの政策提言を行う大事な議員活動の場です。6月定例会では議員2人が一般質問を行いました。

## 町の各種委員会と協議会

### 【質問1】

平成28年度現在、設置している委員会等の数は。

### 【町長答弁】

国の法律に基づき設置している委員会等は15組織。町の条例に基づくものは10組織。条例等以外で設置している委員会等は合計で16組織となっている。

### 【質問3】

最大で12の会に所属している方もいるというが、複数の委員会等に所属している委員の人数を示せ。

### 【町長答弁】

複数の委員会に所属している委員数は106人。最も多い方というのは自治会連合会の会長だと思われる。

### 【質問2】

条例等により設置している委員会等と、それ以外の委員会等に属している人数は合計で何人か。

### 【町長答弁】

条例等で設置している委員会には273人、それ以外には252人で合計525人。

### 【質問4】

委員会等の整理、統合は考えられないか。

### 【町長答弁】

委員会等の設置及び運営の適正化とあわせて効率化を図る観点から、整理統合等の検討を行う必要があると考えている。



伐採作業の様子





沢口博二 議員

## 行政の対応について

### 【質問1】

行政の対応が杓子定規に過ぎると町民から聞くが、課内で制度の運用、適用につき、どのように話合っているのか。

### 【副町長答弁】

想定外の状況が発生したら、担当者は課長に報告し、課内で検討し必要があれば改正をしている。

### 【質問2】

リフォーム制度につき、借り主が利用できない状況だが、修正・拡充は出来ないか。

### 【副町長答弁】

現在は、所有者のみが申請できるものだが、状況を見ながら改正・拡充についても検討して参りたい。

### 【質問3】

改正する場合に、それを検討する段階で議会に修正案を示してもらいたいがどうか。

### 【町長答弁】

常任委員会の中で、途中経過、情報提供をしたいと思っている。

## 教育について

### 【質問1】

高校再編問題についての認識を伺いたい。

### 【教育長答弁】

地域校として存続するが、2年連続で2分の1未満の入学者となった場合は、町と協議に入ることになっており、安心はできない状況にある。

### 【質問2】

小・中・高の今後のあり方につき、どのように考えているか。

### 【教育長答弁】

生徒数の減少は著しく、「総合教育会議」「次代の子どもの教育環境を考える懇話会」で今後について、議論を深めていきたい。



授業を受ける田子中学校の生徒

### 【質問3】

幼稚園、保育園の今後については、どのように考えているか。

### 【教育長答弁】

現在、「次代の子どもの教育環境を考える懇話会」より、老朽化した幼稚園の移転、幼保連携の取り組みの要望があり、検討していくこととする。

## 産業について

### 【質問1】

アンテナショップの今後について説明してもらいたい。

### 【町長答弁】

前委託業者は使わず、本年10月で今の場所より撤退し、新たな戦略づくりを進めているところである。

### 【質問3】

林業資源活用協議会の進捗状況を聞きたい。

### 【町長答弁】

委員会を10回開催し、現状把握と課題整理をした後、事業案を提出したい。

### 【質問4】

上郷地区でのたい肥散布車の運用の目処は。

### 【町長答弁】

田子町たい肥生産ファームにて、にんにく収穫祭後のほ場への散布について、積極的な稼働を見込んでいる。

### 【町長答弁】

5月末に仮注文のお知らせを行い、収穫後に配分量を決定する。

# 議員活動報告

議員はそれぞれ、議会運営（議会広報編集）委員会、総務・文教常任委員会、産業・民生常任委員会に5人ずつ所属しています。また、特別委員会の活動や、町政に活かすため研修会の参加、先進地の視察を行っています。

## 協議

○実施日 5月22日

議長との諮問を受け5月22日に委員会を開催し、6月5日開会の平成29年第2回定例会の議事日程等について協議を行った。

## 議会広報編集委員会

○実施日 4月10日

議会だより第91号の内容の最終確認と発行日程について協議を行った。

○実施日 5月25日

町村議会広報研修会に参加し、議会広報の作り方を学んできた。

## 町民に伝わる 議会広報を

## 議会運営委員会（議会広報編集委員会）

【構成委員】 宮村尚哉委員長 宇藤大介副委員長 日沢一雄委員  
尾形憲男委員 沢口博二委員

## 事務事業調査

○実施日 5月16日

委員会を開催し、所管に係る事務事業の調査を行った。

## 【教育課関係】

田子小グラウンドと清水頭小学校舎の改修工事を夏休みに実施。田子小学校が食習慣改善モデル校に選定された。

## 【住民課関係】

任期満了に伴う教育委員会委員2名の任命を定例会に上程。委員会から学校訪問の日程調整等を要望した。

## 【総務課関係】

6月補正予算の概要と、町消防委員会員の承認についての説明。自主防災組織は世帯カバー率で県平均を上回るが、全国レベルでは低い。消防団火災出動状況は4月以降3回、延べ116名が出動。

## 【税務課関係】

税の徴収状況は、4月末現在の町税及び国民健康保険税の徴収率は前年度比微増。ふるさと納税の28年度実績は、2477件で4660万2千円。

## 【政策推進課関係】

連携中核都市圏の新規事業として、スポーツ施設の相互利用、空き家対策などを会議で検討。一般財団法人田子町にんにく国際交流協会の28年度事業報告、決算、29年度事業計画の説明と、町のサイン計画の整備状況の説明があった。

## 事務事業調査

○実施日 5月18日

委員会を開催し所管に係る事務事業の調査を行った。

## 【診療所・老健の運営】

医師の勤務態勢は、常勤2名体制を維持し、整形外科、小児科、泌尿器科は非常勤として各所から応援を受けるとのこと。トイレの改修を段階的に行い、ナスコール更新、自動心臓マッサージ器の更新を今年度に行うとのこと。看護師、介護職員の募集もしているとのこと。

## 【建設課関係】

世紀越えトンネルにつき、秋田県から調査の参考として町に資料提供の依頼があったとのこと。水道関係では、新たな新田水源地からの配水、導水管工事の説明があった。

## 【産業振興課関係】

今年度は、15歳以上の町民を対象にピロリ菌検査を無償で行うとのこと。

にんにくオリジナル種子増殖事業のトラクター購入等の説明があり、委員会から現地調査の要望をした。アンテナショップ運営につき、全員協議会での説明を要望した。

## 対象者のピロリ菌検査 を無償で実施

## 産業・民生常任委員会

【構成委員】 沢口博二委員長 日沢一雄副委員長 蹴揚清人委員  
砂子田康雄委員 欠端則夫委員

## 田子小学校が食習慣 改善モデル校に

## 総務・文教常任委員会

【構成委員】 尾形憲男委員長 宮村尚哉副委員長 宇藤大介委員  
椛本義見委員 澤口勝委員



## 開かれた議会運営に向けて



平山先生による講演

「地方議会の現状と機能強化について」と題して、5月15日に役場第一会議室において田子町議会議員研修会を開催し、岩手県町村議会議長会の米田武美氏によるご講話をいただきました。

山積な現状打開に向け、努力・研鑽を重ねるべきと襟を正しました。今後におきましては、町民皆様へ逐次情報を提供し、我々の活動をわかりやすくお示しできるように、開かれた議会運営に向け鋭意取り組みを再展開してまいります。

(宇藤大介)

の基本的な考え方や所作を学び、透明性を持つ議会運営に真摯に取り組むことを目的として開催されたものです。昨今の議員のなり手不足問題、住民の議会に対する関心の遠のき等、課題

## 発展に向けて8市町村で連携を



八戸西地区給食センターでの作業の様子

5月23日、八戸市で第19回連携中枢都市圏の形成に関する勉強会が開催されました。はじめの視察会では、4月から稼働を始めた八戸市立学校西地区給食センターで施設概要の説明を受け、センター内を見学しました。視察会後は八戸プラザホテルに会場を移し、総

ービスの向上」に取り組むことにより、人口減少・少子高齢化においても活力ある社会経済を維持するための拠点形成することを目的に、八戸市を中心に我が町を含む8市町村で

務省自治行政局市町村課の山口研悟課長補佐から、「新たな広域連携について」と題した講演がありました。連携中枢都市圏は、国の「まち、ひと、しごと創生総合戦略」での推進が図られ、「経済成長のけん引」、「高次都市機能の集積・強化」、「生活関連機能サ

ービスの向上」に取り組むことにより、人口減少・少子高齢化においても活力ある社会経済を維持するための拠点形成することを目的に、八戸市を中心に我が町を含む8市町村で

新たな広域連携が図られているものです。「八戸都市圏スクラム8」と称されるこの取り組みにより、地方公共団体間の新しい柔軟な連携を可能にし、医療・社会福祉の面ではとりわけ大きな役割を果たすことが期待されております。

皆様に馴染みのある所では、ドクターヘリやドクターカーがあります。昨年は延べ500回以上出動し、県民の命を救いました。地方創生の深化のためには、地域の生活経済実態に即した「圏域」づくりに取り組む必要があります。我が町もこの圏域発展に大きく寄与し、多くの恩恵を授かるべく広域的な自治に取り組み、発展していけるものと考えております。



講師の山口研悟氏

(宇藤大介)

## 住民に読まれ 活動が伝わる議会だより



芳野先生の講演

議会広報を発行する目的や心構えといった「議会広報の役割」と、読者の立場に立った編集や読みたくなる見出しの付け方といった「伝わる広報」について学びました。

5月25日、町村議会広報研修会が青森市で開催され、議会広報編集委員会の宮村尚哉委員長と宇藤大介副委員長が出席しました。この研修会は、議会広報作成の技術向上を目的に毎年開催されており、議会広報サポートの芳野政明氏を講師に迎え、「住民に読まれ議会活動が伝わる『議会だより』の基本と編集」と題して講演がありました。研修会は二部構成で、前半は

後半は「議会広報クリニック」と題し、県内から選ばれた5町村が事前に提出しクリニックを受けた広報誌をテキストにし、評価する点や改善点などの説明があり、実際に具体例を見ながら学ぶことができました。

(宮村尚哉)

## 総務・文教常任委員会で学校訪問



学校を訪問し授業の様子を視察

6月22日、総務・文教常任委員会の現地調査ため、教育課の職員と町内各小学校、中学校、幼稚園等を訪問しました。

上郷小学校では校長先生から、教室や廊下の壁の劣化や腐食、バックネットが劣化し倒れる危険がある、遊具の腐食といった修繕要

望箇所について説明をいただきました。

田子中学校では、佐藤邦彦校長、越後俊之教頭の歓迎を受け、学校経営方針や教育目標、学校の課題等の細かな説明の後、放送設備全般にわたる整備、体育館緩衝用モーターの不具合、駐車場の確保、パソコン及び校内LANの老朽

化による不具合等といった要望をいただきました。

田子幼稚園では、園舎が建設されて49年になるとの説明があり、古い施設としては明るく輝いて見えまして。廊下や教

室内を塗装や色紙等で飾り付けており、職員の努力状況がうかがえました。池田園長から

は、施設も大変古くなり、将来の方向性も見えないと心配するお話がありました。

田子小学校では、木村明彦校長から学校方針の説明がありました。石渡教頭からは、要修繕箇所について、屋内消火栓ホース24本

の交換、屋外受電装置の高圧負荷開閉器の更新等、11件の要望がありました。

清水頭小学校では、佐々木悟校長のあいさつに続いて、遠藤ゆみ子教頭から施設整備の要望箇所についての説明がありました。

暖房設備関係、チャイム放送器関係等、11件の要望がなされました。

### 学校訪問をして

生徒数の少ない小学校で複式学級での授業参観をしたが、生徒が理解できるまで粘り強く教えていた。1人の生徒を大事にしている姿に感銘した。各小・中学校とも来客対応あいさつが良かった。特に中学校訪問の時、廊下でのしっかり立ち止まって視線を合わせて「こんにちは」とあいさつをする。多くの生徒がこの様なあいさつができてきていることは、学校側の指導、しつ

(日沢一雄)



# 交流都市の千葉県多古町を訪問

## 多古こども園

去る6月10日・11日に総務・文教常任委員会では交流都市である千葉県多古町に行つて参りました。

多古町は人口1万4千人で成田市に隣接する町で、平成24年12月に遠野市で開催された道の駅全国大会で、町名が似ていることから



あじさいまつりのステージイベント

害時における「災害時ににおける相互援助協定」を結び交流を深めております。

今回の常任委員会視察では、多古町立「多古こども園」と「あじさいまつり」を研修してきました。

多古町議会の総務委員会の6名と園長さんが説明下さいました。

多古町を訪問してこども園を視察いたしましたして大変参考になりました。当町でも口今、田子保育園新築移設に向かつて計画していますが、これからの幼稚園、保育園事業の参考にし、更に多古町との議会交流も深めていきたいと思ひました。

(宮村尚哉)



こども園に通う子どもたち

多古町は現在357名で職員(正・臨含む)74名体制で運営し、園舎もかなりの工夫が施されておりました。デイリープログラムとしてましては園児が1〜3号認定と区分けされており、1号認定は幼児教育を主とし、2号認定は幼児教育+保育で、3号認定は保育のみのプログラムになっておりました。なお、この園の素晴らしい所は1号認定の園児であつても臨機応変に預かり保育も受けるのとのことでした。園児の登下園は、親の送迎以外に送迎バス6台でまわしてることでした。

翌日、あじさいまつりにも参加させて頂きました。会場は道の駅「あじさい館」からメイנסテージテントのあつる200メートル近くの川沿いでした。通り沿いには100以上のテントが並び各商店、町商工会青年部、女性



にんにく商品を販売する田子町

ふるさと多古町あじさいまつり



# 行政視察研修報告

先進地の取り組みを学び田子町の発展に生かすため、6月14日から17日の3泊4日の日程で県外行政視察研修を行いました。視察先は次のとおりです。

視察内容については、永平寺町は日沢一雄議員、池田町は尾形憲男議員、加賀市は沢口博二議員、内灘町は宮村尚哉議員が報告します。

## 視察地

- ①福井県永平寺町 6次産業について
- ②福井県池田町 「ツリーピクニックアドベンチャーいけだ」の取り組み
- ③石川県加賀市 町屋再生事業について
- ④石川県内灘町 道の駅について



永平寺町の特産品を販売する四季食彩館

## 永平寺町の概要

行政視察研修初日は、福井県永平寺町を訪れました。人口は約1万9千人で、総面積は94.43km<sup>2</sup>。県都福井市に隣接し、県内最大の河川九頭竜川が中央を流れ、それに平行して国道416号線と越前鉄道が走っています。

曹洞宗大本山の永平寺や吉峰寺、松岡古墳群など多くの歴史文化資源が集積しており、また、福井大学医学部、福井県立大学など学術研究機関も立地しています。豊かな自然の中に荘厳な歴史文化を見る事ができました。

## 福井県 永平寺町

## J A 永平寺特産品加工場

永平寺四季食彩館にイスペースではないものは、町の特産品の五領たまねぎ、にんじん、上志比にんにくといった、多くの品数の商品が取りそろえられています。中には、青森県産の黒にんにくも販売されています。



永平寺町の特産品「上志比にんにく」

## 永平寺町を訪問して

我が町も近い将来、道の駅構想もある中で、年間を通じた農産物、加工商品の陳列が心配される場所ですが、少しでも多くの商品加工を進めながら対応していきたいものです。

(日沢一雄)

# 福井県 池田町



ツリーピクニックアドベンチャーいけだ

## ツリーピクニックアドベンチャー いけだ

佐野和彦議会議長出席のもと、役場会議室で概要説明があった。「木とともに生きる池田町」の取り組みの中で印象に残ったのは、新一年生に机とイスのプレゼントを行っていることだったが、田子町でも来年度からでもできる取り組みだ。

概要説明の後、今回の主題である「ツリーピクニックアドベンチャーいけだ」を現場視

察した。池田町の森や木の資源、素材を利活用することで、木に触れる豊かな暮らしの創造や、森林環境の保全・育成、若者の雇用や移住・定住の拡大、小さな地域循環型経済の創出を目的とした「木望（きぼう）のまちプロジェクト」の一環として平成28年4月28日に誕生した。

この施設は「メガジップライン」「アドベン

チャーパーク」「アドベンチャーボート」「アウトドアエリア」の4つのエリアから構成され、中でも全長約1kmの「メガジップライン」は、1本のロープで滑走するジップラインとしては日本最長。今回は時間の都合上、メガジップラインのみの体験だったが、貴重な経験となった。

対応してくれた職員（20歳代の女性2人）は、地元出身者のUターン者と関西出身のUターン者で、対応が良く池田町のイメージアップにも繋がっていると感じた。今回は1つの施設だけだったが、ぜひ全ての施設を体験してみたく思った。

施設の総工費は7億5400万円。町長の発案により平成26年4月に構想を開始し、28年4月から運営を開始している。平成28年度の売り上げは1億4千万円で、約3・8万人が利用した。

ツリーピクニックアドベンチャー

## 池田町を訪問して

町長の発案により短期間での実現。また、一般会計規模27億円程度の町で7億円以上を予算計上し、自主財源で対応2698名の町に40名の雇用を生み出す力を見る事ができた。どの町でもそうだが、「やる気」次第だと感じた。

（尾形憲男）

## 池田町の概要

池田町は福井県の中央部に位置し、伝統芸能の能楽と、それに伴う能面芸術の文化を受け継いできた町。人口は2698人で、世帯数は697世帯、高齢化率は43・07%になる。総面積194・65km<sup>2</sup>の内90%は山地であり、町全体で有機栽培に取

り組み、化学肥料や農薬を可能な限り使わない米や野菜作りを行っている。主体は米作りで「うらの米」の名でブランド化されている。また、家庭から出る生ゴミと池田牛の糞で作った堆肥は「土魂壤（どこんじょう）」の名で一般販売されている。



メガジップラインを体験



# 石川県 加賀市

## 加賀市の概要

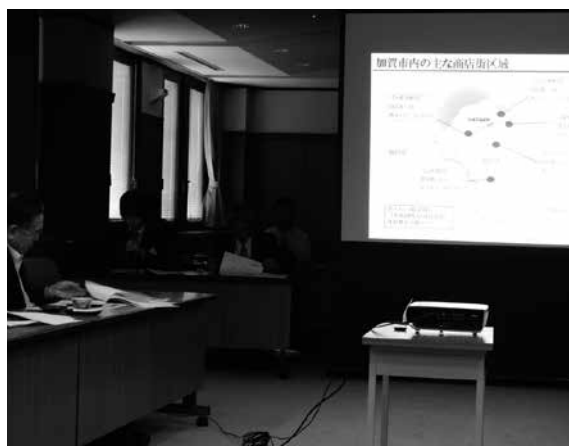
加賀市は、石川県の南西部に位置し、福井県と隣接している人口約6万8千人の市である。山中、山城、片山津という有名な温泉地があり、観光も盛んで他に九谷焼という伝統工芸もある歴史あるところである。加賀前田藩の支藩、大聖寺藩であったところで、落ち

着いたたたずまいを感じさせる。九谷焼の工房も訪ねたが、その繊細、華麗さは圧倒されるものである。今回は、その大聖寺地区にある古民家の再生について、視察研修してまいりました。この地区は、江戸時代の町割りがそのまま残り、城下町の面影を残す町並みが形成されています。



庁舎内での説明会の様子

## 町屋再生事業



プロジェクターを用いた事業説明

「町屋再生事業」は、歴史的景観の保全、良好な居住環境の実現、まちなかの賑わい創出を目的に平成18年度より、加賀市が取り組んできました。

ご多分に漏れず、加賀市も人口減少、地元商店の閉店、撤退等の事態に見舞われ、その対策の一環として「町屋再生」に着手したようです。

事業の内容は、伝統的形態の建物の修繕補強、改修の2分の1を市が拠出し、所有者、大工建築関係者、不動産業者と市、そして借主が一体となって、再生案を作り、再生していくものです。これに市独自の創業支援事業があり、金融関係、商工会議所等が連携して、後押しをする体制ができています。

あくまで、地域密着型の再生であり、地元

の人が集まり、地域の交流が生まれることを目的としている。

現在は、20件以上の再生が成り、カフェ、工房、介護、学習塾、ギヤラリー等々、様々に

もちろん、全てが成功しているわけではないが、じっくりと時間をかけて持ち主、借り手、種々の業者、行政とで練り上げていく手法は、商店のみならず、一般の空き家対策にも応用ができるのではないかと思える。



あいさつをする谷本直人加賀市議会議長

## 加賀市を訪問して

伝統建築物の再生を通じて、街の活性化をはかる試みだが、なにより、市が本気で取り組んでいる点が目される。ある程度は成功と云って良いと思われるが、それで全てが解決される訳ではなく、時代を読み、将来を見据えて継続しなければならぬだろう。ひるがえって、我が田子町はどうなのか？ 大局に立ち、大胆に町の活性化の具体策を、それこそ、官民一体となって練るべきではないかと考える。

(沢口博二)



# 石川県 内灘町



内灘町の道の駅「内灘サンセットパーク」

## 内灘町の概要

行政視察3日目、石川県河北郡内灘町にある道の駅「内灘サンセットパーク」を視察してまいりました。

内灘町は隣接する金沢市のベットタウンになっており、西に日本海、東に河北潟を擁し

白山・立山連峰を望む砂丘の町です。内灘海岸は四季を通じて多くの若者で賑わっており、マリンスポーツのメッカとして人気を集めています。町の概要として

ましては人口2万6887人、世帯数1万7255世帯で当町の約5倍弱の規模です。産業

別では第3次産業が70%弱を占めており第1次産業は1%だそうです。町の農業は埋立田である平地水田地帯及び河北潟干拓地畑作地帯並びに海岸線に沿った砂丘畑作地帯に大別されており。水田面積は比較的少なく、干拓地畑作地帯では、県内牛乳生産量の約4割を占める酪農の他、むぎ・大豆・スイカ・大根・花卉などの生産がされており、また砂丘畑作地帯ではスイカ・さつまいもの生産が盛んです。

## 道の駅「内灘サンセットパーク」

道の駅「内灘サンセットパーク」は2003年7月に開駅しており、町の高台に位置しております。白山から立山まで見渡せる絶好のロケーションでした。夜には町のシンボルである「サンセットブリッジ内灘」のライトアップ



全国から集まる農産物



内灘町の観光地「サンセットブリッジ内灘」

アップも間近で見ることができ、デートスポットとしても人気を集めています。売店ではソフトクリームなどの自慢の乳製品も販売しており、美味しくいただけ、オリジナル加工品

## 内灘町を訪問して

金沢市のベットタウンの町、内灘町でした。産業別割合では圧倒的に少ない第1次産業でしたが、農業・畜産業も生き残りをかけ奮闘しているようでした。田子町もこれから道の駅を作るにあたり、参考にしたいと思っています。

(宮村尚哉)

# 町の方から ひと言インタビュー

町の方から、定例会を傍聴しての感想や、議会への意見など、お話を伺いました。

議会の傍聴に行きました！

## 実際に見て親しみを感じました



田子町連合婦人会  
会長 坂本 暁子さん (64)

### ① 傍聴に来たきっかけは

田子町連合婦人会の活動の一環として、町政に触れ、理解するため、勉強として傍聴に来ました。私は今回がはじめてでしたが、婦人会の活動としては毎年傍聴に来ています。

### ② 議会を傍聴しての感想は

実際に傍聴をして、専門用語が出てきたり、関係のある職業の人なら理解できるような内容の議論もあり、内容が難しくわからないこともありましたが、傍聴席で実際に議会の様子を見て、ケーブルテレビで見ている時にはなかった親しみを感じました。

一度は行って見た方が良い  
と思いました。

### ③ 議会（定例会）のイメージは

議会は難しいイメージがあり、テレビで見ている分には自分には関係のないものだと思っていました。実際に傍聴に行き、自分の身近なものに感じ、もっと勉強しないといけないと思いました。

### ③ 要望などはありませんか

説明する課長さんの中で、名前や顔、どこの課長かわからない人もいるので、名簿を傍聴席に置くなど、名前がわかる工夫があれば助かります。

お忙しいなかご協力いただき、ありがとうございました。  
今後とも、田子町議会をよろしくお願ひします。

## 編集後記

今回は常任委員会の再編がありまして、メンバーは多少変わった委員会もあります。行政視察、議会広報の原稿の提出等、委員の方々は本当に忙しい時期であり、ご苦労されたと思います。

見える化という言葉がありますけど、議会の改革、情報提供等を開示してまいりたいと思います。公正公平をモットーに、町民の目線に添った活力ある町づくり邁進する所存であります。議会に対する町民の皆様のご意見を聞かせていただければ幸いと存じております。

砂子田康雄

### 発行・編集責任者

議長 澤口 勝

### 議会広報編集委員会（第92号）

委員長 宮村 尚哉

副委員長 宇藤 大介

委員 砂子田康雄

日沢 一雄

尾形 憲男

### 執筆協力

沢口 博二

欠端 則夫

坂本 暁子